

横浜市へ「開港 150 周年・大相撲横浜場所」入場券を寄贈

神奈川県遊技場協同組合を母体とする神奈川県福祉事業協会（平川正寿会長）は、社会貢献活動の一環として、高齢者に楽しんでいただくため、「開港 150 周年・大相撲横浜場所－2008」の入場券 380 枚を横浜市へ寄贈いたしました。

1. 贈呈日	平成 20 年 8 月 26 日（火）午後 4 時 00 分～午後 4 時 15 分
2. 場 所	横浜市役所（市長応接室）
3. 贈呈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会
4. 贈呈先	横浜市（中田 宏市長）
5. 贈呈品目	大相撲横浜場所入場券 380 枚（200 万円相当分）

6. 概 要

神奈川県遊技場協同組合を母体とする神奈川県福祉事業協会（平川正寿会長）は、社会貢献活動の一環として、高齢者の方々に楽しんでいただくため、主催「横浜開港 150 周年・大相撲横浜場所－2008 実行委員会」、共催「NPO 法人ヨコハマ未来地図づくり 100 人委員会」により、10 月 12 日（日）横浜文化体育館で開催される大相撲横浜場所の入場券を横浜市へ寄贈いたしました。

入場券は、横浜市社会福祉協議会を通じて、老人クラブ等に配られます。

贈呈式では、平川会長が「高齢者の方々に喜んでいただけることが、私たちの励みにもなっています。」と挨拶。

中田宏横浜市長からは、「多くの方が、目の前で大相撲を見ることができるかけがえのない機会をいただいたことと、大相撲横浜場所を運営している民間団体に対する支援にもなっていることに心より感謝しております。また、この件では新聞広告も出していただき、宣伝活動へのご協力もありがとうございました。

先日のチャリティプロレス招待事業、今回の横浜場所、と、開港 150 周年を迎える横浜への度々の支援と、福祉への貢献的な活動に感謝いたします。高齢者の方々に楽しんでいただける貴重な機会をいただき、大変意義のあることと感じます。」とお礼の言葉とともに感謝状をいただきました。

贈呈式の模様は、8 月 27 日付神奈川新聞に写真付で掲載されました。



写真左より神奈川県流通商福祉防犯協力会井上会長
平川会長、中田横浜市長、平田県遊協理事



中田市長より感謝状をいただきました。